

令和3年度

北海道教育大学

附属函館幼稚園だより

NO. 8【号】



スキルの根底にあるモラル

附属函館幼稚園園長 外崎紅馬

秋は全国で交通安全運動が行われる。それを受けて全国各地で交通安全指導や交通安全教室が実施される。園でも今月、園児を対象に交通指導員による交通安全教室を予定している。主として、歩行者の立場から道路の安全な歩き方や信号機のある横断歩道のわたり方など、わかりやすい講話と体験用に設置した横断歩道の横断練習などを通して、交通ルールの理解が図られる。

そのようなルールの理解が子供の頃から図られているにも関わらず、社会生活の実際の場面では信号無視が後を絶たない。先を急ぎたい気持ちはわかる。左右を確認し車が来ないことの確信を得て、どうみても安全だと思えば信号を無視したくもなるだろう。しかし、赤信号の下、それを無視して横断歩道を渡ることは、決して安全ではない。信号は青で進め、赤で止まれである。そのルールをきちんと守ることこそが安全なのである。

ルールをないがしろにする人は概して周囲が見えていない。赤信号が点灯しているということは、一方では青信号が点灯しているということである。青は進めである。青信号を信じて進むことができるのは、赤信号をきちんと守って行動しているという他者のルール遵守への信頼しかない。

ルールの下で行動するのは「スキル」である。ルールを守るといのは「モラル」である。人の自己認識の特徴として、「自分の考えは他者の考えより、ちょっとだけ正しい」と捉える傾向がある。また、「自分は正しい価値観・倫理観・常識を身につけている」と思っている。そのため、自己の向上を図るとき、スキルアップには熱心に取り組むが、「モラルアップ」に取り組む人は少ない。

結果、人より正しい考えを持ち、常識も備えている人が世の中には多いはずなのに（？）、ルールを無視し、周囲に迷惑をかける自己本位な人もまた多い。

ルールを守らず、先を急いで信号無視をし、横断歩道を渡り切った本人の気持ちは満足かもしれない。ただ、そのような行為は、周囲を危険にさらし、きちんとルールを守り信号待ちをしている人の気持ちをすり減らす。

園では、交通安全教室の機会に限らず、全ての行事や生活場面を通して、スキルの習得だけではなく、そのスキルの根底にある本質的なモラルについて理解を促し、しっかりとした人づくりをこれからも行っていきたい。

